

「地域課題分野」(平成25年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
流域地質構造が河川景観に及ぼす影響の解明とそれを踏まえた河道設計・管理手法の構築 (研究期間：H25年～H27年)	名古屋大学 田代 喬	A
<研究概要> <p>本研究では、流域地質が河川景観・生態系に及ぼす影響を解明し、その成果を河道設計・管理手法に展開することを目的とした。河川景観、生態系における流域地質の影響過程を抽出し、水生生物の生息場所と群集構造を含めて記述するとともに、水理・生態機能を評価可能な河道設計・管理支援ツールを構築することにより、実用可能な河道設計・管理手法へ展開する道筋を示した。</p>		
<事後評価コメント> <p>流域地質と河川景観との関係性という新たな視点について分析・整理を試みるとともに、得られた成果について数値計算モデルを用いて河道設計・管理の実務に結びつけるための手法、方向性を提示するなど研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。今後は、生物に関して流域地質以外の要因の影響をどのように取り扱うのか、空間スケールの階層間の関係性や上下流のつながりなどについても検討を深めるなど研究を進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い